

令和4年度 福岡県相談支援従事者 現任研修（更新者コース） 受講完了確認書（レポート）

レポートは現任研修で習得すべき事柄について、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、4枚セットを左上ホッチキスで止めて事務局へ郵送してください。

郵送先	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 4-2-10-5F 一般財団法人 保健福祉振興財団 福岡支部 福岡県相談支援従事者現任研修係
提出期限	令和4年12月12日（月）17時必着

視聴完了日： 年 月 日

私は本講義の全動画（約6.5時間）を視聴しました。

受講番号： _____ 氏名： _____ 印

証明者記入欄

	科目名	視聴完了	レポート記入完了
	※視聴完了後、記入完了したレポート科目にチェック	✓	✓
【講義1】	障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状		
【講義2-1】	意思決定支援に着目した個別相談支援		
【講義2-2】	多職種連携及びチームアプローチ		
【講義2-3】	地域を基盤としたソーシャルワーク		
【講義3】	実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法		

上記の者が、全動画（約6.5時間）を視聴したことを証明します。

令和 年 月 日

法人名または事業所名 _____

氏 名 _____

法人印
または
事業所印

科目名		多職種連携及びチームアプローチ		テキストページ	84～107 頁
獲得目標		自己評価		気づきや理解した点等	
		受講前	受講後		
1	多職種連携・チームアプローチの意義や目的・方法を理解し、他のひとに伝えることができる				
2	ケアマネジメントプロセスの各場面における多職種連携・チームアプローチを理解し、実践することができる				
3	事業所・組織・多機関・地域それぞれに応じた多職種連携・チームアプローチを理解し関係作りをするとともに、本人の意思を尊重したチームによる意思決定支援ができる				
4	各種会議等において、相談支援専門員の役割と業務を理解し、会議の技術を用いた運営・実践することができる				
5	多職種連携・チームアプローチの阻害要因を考え、連携先の立場に立った視点、配慮、解決に向けたアイデアをみつけ、実践に活かすことができる				
6	多職種連携・チームアプローチの重要性を理解し、常日頃の実践から、本人の最善の支援が実践できるように取り組む姿勢を持っている				

科目名		地域を基盤としたソーシャルワーク		テキストページ	109～124 頁
獲得目標		自己評価		気づきや理解した点等	
		受講前	受講後		
1	地域を基盤としたソーシャルワークの意義と機能を理解し、説明できる				
2	個別支援から地域課題の抽出、地域支援の展開について理解し、実践することができる。				
3	地域課題への取り組みに向けた（自立支援）協議会の活用について理解し、実践することができる。				
4	地域アセスメントの目的や視点・方法を理解し、実践することができる。				
5	地域資源の柔軟な活用、資源ネットワークの必要性について理解し、実践できる。				

科目名		実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法		テキストページ	126～138 頁
獲得目標		自己評価		気づきや理解した点等	
		受講前	受講後		
1	スーパービジョンの定義や機能、特長について説明することができる				
2	相談支援専門員のスーパービジョンの必要性を説明することができる				
3	事例検討やグループスーパービジョンの必要性を説明することができる				
4	スーパービジョンの具体的な方法を理解し、実践の中で取り入れることができる				